

# ながら小



<http://nagara-dousokai.net>

発行  
平成30年4月30日  
岐阜県立長良高等学校同窓会  
岐阜市長良西後町1716-1  
TEL (058) 231-1186

## Vol.50 記念号



表紙写真:長良橋川灯台 / 西垣博子(武藤)29期

平成30年度

### 長良高校同窓会総会・懇親会

日時 / 平成30年6月17日(日)

受付: 11:00~

総会・懇親会: 12:00~15:00

場所 / 岐阜グランドホテル

参加費 / 一人 7,000円 学生 4,000円

今年度は、39期(S63卒業)がメインホストとして、長良高校同窓会懇親会を運営させていただきます。

今回のテーマは、

「未来につなぐ、ありがとうの気持ち ~Thank you !!~」です。

私たち「39期(サンキュー)」が、歴史や伝統ある長良高校に通うことができた嬉しい気持ちや長良高校卒業生としての誇りを、それをつないでくださった先輩や先生方、さらに未来を担ってくれる後輩たちに伝え、「ありがとうの気持ち」をつなげていきます!

当日は「ありがとうの気持ち」を表す企画を用意していますので、お楽しみに!! 皆さん、お誘い合わせの上、是非ご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

メインホスト39期 懇親会実行委員長 有田誠二



同窓会会長 澤田 栄(30期)

# 『情熱の継承』 縁・JOYながら

「僕たちは長良高校を愛しています。友情深し、長良高校！」力強い団長の選手宣誓から始まった昨年の体育祭、そして、渾身の応援合戦。日々学校現場で積み上げられていく創立からの歴史。私たちが愛した長良高校は健在です。

この度「ながれ五〇号」を記念号としてお届けできることを嬉しく思います。これまで長良高同窓会の歩みを築き、支えて頂きました先輩各位に心から感謝申し上げます。溢れんばかりの情熱をしっかりと継承していきます。

この春三九九名の六十九期生が同窓会に入会、総勢二八、六七九名となりました。入会式にて六十九期生に対し三十年後の総会・懇親会の企画運営をお願いしました。「想像できないほど先のことですが、必ずくる未来です」と。十八歳に託した三十年後の約束。一人ひとりが可能性を拓き、胸を張って仲間と再会できるような物語を紡いで欲しい。

三十八期生による昨年の同窓会総会には五三〇名という多数の出席を頂きました。大正十四年竣工、昭和六十一年に取り壊された「本館改築送別会」の貴重映像を披露してくれました。榎本実行委員長を中心に趣向を凝らし、肩を組んでの校歌斉唱まで大いに盛り上げてくれました。

岐阜市観光大使を務めるアクアタイムズの太志さん(五十期)が昨春、ふる里岐阜を元気にしようとして「決意の朝に二〇一七」と銘打ちコンサートを開催、アンコール曲「虹」で長良高コーラス部との共演が実現しました。そして、その模様は岐阜放送の素敵なドキュメント番組になりました。太志さんの長良高らしいスピリットに心が弾みます。

昨年六月、大学野球選手権大会で優勝した立教大の主軸として活躍、大会 MVP を獲得した大東孝輔さん(六十五期)は社会人野球を舞台に夢の続きに挑みます。昨年十一月開催された関東支部総会に参加し、花を添えてくれました。

同窓会の目的は、①現役生の青春を力強く支えること、②先生方の情熱を応援すること、③世代を超えて会員が交流をはかり、幸せの総量を最大化していくことです。そして同窓会は新たな自分の『初心に返る場所』だと思っています。

長良高、少しバステル調の校章が好きでした。一年生の赤、二年生の青、三年生の黄色と繋いでいきます。卒業式、私たちの心に生外すことができない緑色の校章がつけられます。そこには「開拓者魂」と刻まれています。人生はアドベンチャーです。これから絆という虹を架けていきます。長良高の発展と同窓生各位のご活躍を祈念するとともに、同窓会活動への積極的な参加をお願い申し上げます。



学校長 増田 和伯

# 『70年の歴史と伝統 そして新風・新生 長良高へ』

同窓生の皆様には、日頃から母校の教育活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り心からお礼申し上げます。昨年四月に伝統ある長良高校に赴任してから、早いもので年が経ちました。この間、同窓生の皆様をはじめ、保護者の皆様や地域の皆様から多くのご支援をいただき、学校運営ができましたことに深く感謝申し上げます。

いよいよ今年、本校にとつて大きな節目となる「学校創立七十周年」を迎えます。十一月四日(日)には、本校体育館において「記念式典」を挙行いたします。歴史と伝統ある長良高校の七十周年に關わることは、誠に光栄であり、全力で職務に邁進する覚悟であります。

創立七十周年を迎えるにあたり、これまでの長い歴史と伝統で育まれてきた「開拓者魂」による文武両道の実績をさらに積み上げ、その上に新たな歴史と校風を創り上げていきたいと思っております。本校は、五年前から文部科学省の「英語研究指定校」として、授業改善や外部検定試験などに力を入れてきました。その結果、民間の「英語技能検定」試験において、大学入試センター試験レベルの二級に二年生時で七〇名が合格、大学中級レベルの準一級に二名が合格、また、毎年、海外からの留学生を受け入れるとともに、この五年間で一八名の生徒が海外留学(二年間)を経験するなど、他校と比較して大きな成果を上げています。文武両道という長良高校の従来の校風に加え、国際的なグローバル社会を生き抜くための英語教育を推進していく新風を創りだし、新たな歴史に向かつて新生・長良高校を目指してまいります。

さて、平成三十年度は、新一年生三六〇名を迎え、三学年全体で在籍生徒数が一、二五名となり、県内でも有数の大規模校として新学期がスタートしています。卒業生の主な進路状況は、現役と既卒者を合わせ四年生大学に延べ六三六名が合格し、そのうち八一名が国立大学に合格しました。また、難関私立大学である慶応大学や早稲田大学などにも合格者を出すことができました。卒業生たちは、高い進路目標を掲げ、最後まで諦めることなく勉強に励み、大きな成果を上げてくれました。部活動においては、陸上競技部・水泳部・剣道部女子・卓球部女子が東海大会に出場、文化系では、放送部・文芸部が全国大会に、コーラス部が中部大会に出場するなど、長良高校の名を全国に発信してくれました。「開拓者の気魄で勉強とスポーツにあたり、礼儀正しくあれ」の校訓のもと、全力で挑戦し、未来を切り拓いていく生徒たちを全職員でサポートしていく所存です。同窓生の皆様の母校への引き続きのご支援とご協力を心からお願いいたします。

## 退職・転出・転入された教職員の方々

### 教職員

- 〔退職〕  
野々村珠樹(教頭・国語)  
船戸三郎(理科情報)羽島北(再任用)  
大橋裕得子(英語)長良(再任用)  
\*以下常勤講師  
牛島義範(地公)  
二村珠美(理科)

- 〔転出〕  
垂見敏汰(国語)中津(定)  
赤堀 徹(地公)大垣南  
神山元秀(地公)大垣商業  
須田勇人(地公)文化伝承課  
納土恵美香(数学)益田清風  
松葉瑠理(理科)飛騨高山(岡本校舎)  
岩井 誠(保体)関  
下野善範(保体)羽島北  
村上 友(英語)恵那  
\*以下常勤講師  
福野衣里子(国語)加納  
横山衣里(英語)関  
細江昌子(保体)多治見(新採)

- 〔転入〕  
小林雅彦(教頭)英語)中濃特別支援  
小池雅子(国語)羽島  
近藤志(地公)羽島北  
三輪周平(地公)文化伝承課  
可兒奈緒美(地公)加茂  
船坂飛馬(数学)大垣養老  
田村直明(理科)加茂(再任用)  
箕浦綾香(理科)恵那農業  
金森康一(保体)加茂  
大橋裕得子(英語)長良(再任用)  
新庄真由子(英語)大垣工業  
\*以下四名常勤講師として勤務  
吉村将成(地公)新規  
山田龍之介(理科)郡上北  
花村龍耶(保体)郡上特別支援  
岡 有昂(英語)関

- 〔転出〕  
松原邦彦(主任)岐阜県図書館 主任

# 歴代会長座談会

●平成30年3月12日(月) ●岐阜グランドホテル 於  
●司会進行/国島太佳生 副会長(32期)



■第七代会長  
玉井 康式  
(5期)



■第六代会長  
山村 知之  
(4期)



■第四代会長  
加藤 敏雄  
(2期)



■第三代会長  
関谷 崇夫  
(1期)



■現副会長  
国島太佳生  
(32期)



■現会長  
澤田 栄  
(30期)



■第十代会長  
辻 慶一  
(24期)



■第九代会長  
辻 修  
(9期)



**澤田** ●本日はお忙しい中、ありがとうございます。創立七十周年を迎え、「ながれ」も今回第五十号ということで、特別記念号としてA4サイズカラー版にしてはと提案がありました。若干費用がかかりますが、チャレンジしてみよう。ここ数年、同窓会総会の参加者が五〇〇名を超え、とても良い雰囲気です。活動できています。これも先輩方の永年のご苦労があつてのことと感謝しております。ただ、黎明期のことはわからないことも多く、同窓生が未来に向けて誇りを持てるよう、本日は大いに語って頂きたいと思っております。

**山村** ●今日は良い機会を作って頂きました。七十年を迎える良い企画だと思ひ、喜んで出席させて頂きました。七十年をどのようか、澤田会長はじめ何かと大変だと思ひますが、どうぞよろしくお願ひします。

**玉井** ●創立七十周年、ながれが五十号という事で、節目に何かをすれば、それが新しい歴史になっていきます。設立の時のご苦労は関谷顧問(二期)がよくご存じですが、新制中学・新制高校ができた頃が一つの過渡期だと思ひます。商業科や定時制、山県に分校もありました。今日はその辺りの歴史にも触れていきますのでよろしくお願ひします。

**辻修** ●本当に良かったなと思つているのは、辻慶一会長として澤田会長へと若い世代に引き継げたこと。前会長勝峰さんから「お前会長やれ」と言われた時に、「役目は若い人で同窓会を活発にすること」と言われた。私は一期二年だけ受け持つて、その次は「若い世代にバトンを受け取つてもらえたことが、今に繋がつたと思ひます。

**辻慶一** ●九期から二四期の私まで飛んで二期四年会長を務めました。先輩方にご配慮いただいたので、常任幹事会が何でも言い合えるいい雰囲気になつていてありがたいと思つています。若い人達が頑張つてくれて、五〇〇名以上が参加する総会になつてきたこと、ながれを発行する資金に窮していたのが、キャッシュフローが出来てき

たのがありがたいなあと感じています。また、たとえ総会に来なくても「俺も長良や、私も長良や」と会話ができて、その一言で通じ合えることはとても嬉しいことです。

## 《創成期について》

**澤田** ●歴史を紐解くと明治三十七年に市立岐阜商業が鶯谷に開設、大正十四年、二十周年を記念し新校舎を建設し長良に移転、昭和二十三年に岐阜女子商と統合し、翌二十四年、学校再編によつて長良高校になりました。県立になるのは昭和三十一年ですね。先ほど、定時制や分校について話題がありました。その辺りのお話を伺えますか。

**山村** ●定時制については、五十周年の準備をしている時に、或る方(故人)から「私達の居た学籍がない」と言われたんですね。それですぐ校長、教頭のところに行き相談しました。そこで一旦、教頭が岐阜卓商を交えて話をすると受けて下さつた。しかし結果が出なかつた。役所の方達はそこまで踏み込むことが出来なかつたということでした。

**玉井** ●私の同学年が岐阜卓商の一期生ですが、その時に大変な騒動があつた。昭和二十六年に県立岐阜商業が開校し、則武に移転後の昭和二十八年に旧市岐商時代の学籍移管が行われた。その際、野球部を甲子園の出場回数ごと持つていってしまった。長良高校商業科の方達は、「どうなつてるんや」という思ひでいましたよ。

**国島** ●私の父がその世代でした。昭和二十四年三月に岐阜商として甲子園春の選抜に出場し、ベスト4まで勝ち進み、四月に戻つたときには校名が長良高校になつていたよ



うです。当時の野球部はかなり強く、昭和二十五年の選抜と夏の大会、昭和二十六年の選抜と連続出場しています。いろいろ経緯があった中で新しい校歌も昭和二十八年に作られたと思います。

**玉井** ● 当時は定時制もありました。私は市役所職員で、市役所内に「長良高会」というものがあつて、ある部署で定時制卒業者と一緒にあつた時に、彼らも「長良高会」に入つてもらいました。そういう語りつくせんことがいろいろあつたから、それも歴史として残していくことが大切だと思います。

**辻修** ● 私が会長在職時に当時の柴田校長から、定時制の名簿が保管してあることを聞きました。これは学校ではなく同窓会が受け持つていかないと。二期定期定時制があつたことをどうやって扱つていくか、柴田校長も悩んでみえたり、すぐには出来なくても何かせなあかんと思つています。行政に出来なくても、当人達が学校にいたという事実は無視できない。だからこれは同窓会で何とかできないかなと思つています。

**澤田** ● 今年の卒業生で二八、六七九名の同窓生数になつていて、そこに数百名の名前が加えられる可能性があるんですね。

**辻慶一** ● 卒業証書の通番と、同窓生の総数に差異があつたのは、そのあたりが原因でしようか。同窓会としては、そうした方々が長良高校同窓会として一緒にやつていききたいという思いがあれば、一緒にやつていきませんかというご案内はしていいのではないかなと思つてますね。



**辻修** ● どこにも籍がないというのはねえ。仲間に入れて欲しいということであれば何とかしていききたいものだね。

**山村** ● 年齢的なこともあるしね。

もしそういう人がいれば学籍があるのだから、事を大きくしないで同窓生として案内することが筋ではないかな。

**玉井** ● 夜間だから年が一緒とは限らないが、誰かまとめ役が居るのかな。でも八十歳超えているな。でも誰かは残っているはず。

**澤田** ● 一度ちょっと調べてみます。七十周年でどこまでやれるかわかりませんが、八十周年まで持ち越してはいけません。ここでお礼を申し上げたいのですが、二年ほど前に山村先輩と市橋五代会長（故）が「長良の学舎」創成からのあゆみ」を自費にて編集、出版して頂き、たいへん勉強になりました。その経緯を教えてください。

**山村** ● 長良高校の創成のころの話をきちつと纏めておいた方がいいと思ひ、二十期までに絞つて編集した。本当は二期二期三期までを纏めたい、という気持ちをおの中に入れて。二期から三期までの方の思いを当時の先生方と共に語つて戴きたかつた。後輩の私たちの思いこみで筆を執るべきではないと思ひ、先生方の思いを含め数編掲載させて戴いた。七十周年を迎える機会にその特集をしてもらえないかな。そうすれば後世に残るし、百周年を後輩達が作る時の参考にもなるだろうし、創成期の先輩が本当に苦しんだこと語り継ぐべきだと思います。

**澤田** ● そうですね。群雄割拠とも記された文面から当時の息づかいを感じることができました。過去の出来事を正しく理解し、ポジティブに未来を照らすような方向と意思でまとめていければと思います。

### 《活躍する長良》

**澤田** ● 私がメインホストの時、六十周年実行委員長を仰せつかり、三五〇名の参加を頂きました。それが今や一昨年の五七四名を最高に五〇〇名超えが続いています。来年七十周年には六〇〇名を超えたいと密かに考えています。先日同窓会入会式で増田校長先生が、「長良の同窓会は凄い。百年歴史のある岐阜高や県岐商に劣らない素晴らし

い活動をしている」と卒業生に話してくれ、とても嬉しく思いました。さて、これからの現役生に望むことは何でしょうか。

**玉井** ● 文武両道でやつているが、校長先生は一代おきに体育系の先生が赴任し高体連の会長を務めてきたが、今回は連続でしたね。そういう面で運動部がもっと強くなつて欲しいと思う。かつて陸上部が男女総優勝した時は盛大でした。駅からパレードしましたから。当時の小川PTA会長が「パレードをしよう」と号令かけて、オーブンカーでやった。さつき出たように甲子園行くことになれば、全国的に名が売れるからね。

**澤田** ● 昨年、立教大学大東孝輔さん（六十五期）が大学野球選手権決勝で長島さんの目の前で特大ホームランを打つた。大会MVPに選ばれ、翌日の新聞には「長島がプロのような打球と絶賛!!」と記事が載つた。音楽ではアクアタイムズの太志さん（五十期）が、岐阜市観光大使として「まだ、はじまつたばかりプロジェクト」と銘打ち岐阜をPRしてくれている。「十二月のひまわり」という応援ソングもとてもいい曲です。先輩がふる里や母校のために様々な分野で活躍することが、現役生に力を与えたいと思います。

**玉井** ● Dr.コトーの山田貴敏さん（二十八期）が平成二十二年から信長大使を務めているね。そういう人が出てくると岐阜もどんどん変わってくるね。

**山村** ● スポーツの話なら、過去にオリンピックにも二人出ているし、素晴らしい足跡を残しているが、その方々は今どうしているかな。

**澤田** ● 確か三十一期生設営の時でしたか、同窓会総会にもお招きし、紹介させて頂きました。

**玉井** ● その頃は、浅野さんと丹羽さん



と陸上のいい先生が続いたんやね。  
辻修●私が入学した頃がそうやった。陸上は  
つかりやった。

玉井●杵屋勝哉(八期)が二昨年亡くなった  
けれど彼が生きておれば人間国宝になっ  
たかもしれない。彼は、お金を取らないし、弟子  
を連れて来てくれるし、いい男やった。

澤田●六十周年の時に、お弟子さんと一緒に  
三味線の演奏をして頂きました。

辻慶一●俳優も何人かいますね。三浦浩一  
さん(二十三期)はいつも助演で出ている。

澤田●矢島健一さん(二十五期)も、大河ドラ  
マ、朝ドラ、映画と話題作にほとんど出ている  
感じですよ。

玉井●一期生で今でも出ている方がいま  
すよ。私も以前ながらに書いたが、活躍してい  
る人を同窓会で応援できるといいねえ。

### 《七十周年について》

辻慶一●七十周年の事業については、先輩が  
残して頂いた基金と、それに毎年百万円ずつ  
積み立てたお金で実施していきます。学校か  
らの要請で、体育館で使うグラウンドピアノを寄  
贈する予定です。音楽室には非常に素晴らしい  
ピアノがありますが、体育館のピアノが老  
朽化し、調律も難しいということで協力して  
いきます。また、学校とPTAと同窓会の三  
者で記念行事を開催し記念誌も発行しま  
す。来年は同窓会としても七十周年の記念  
総会となります。沢山の方が集まってくる  
ような内容にしたいと思つて進めています。

山村●前のピアノ買ったのは私が会長の時  
です。なぜだか同窓会寄贈と名前を入れてもら  
えなかった。フルコンサートです。

辻慶一●それは音楽室にあるものですかね。  
今度はぜひ名前を入れて頂きます。

玉井●あと二つ問題は名簿を作るかどうか。  
今の時代は、個人情報とかあるけれども、作  
れないかなあ。プライバシーの問題はあるが、  
それは個人が了承したかどうかで出来るは  
ずやが。

山村●同窓会HPに個人情報保護に関す

ことがきちんと書いてある。それに抵触する  
かもしれないが、やはり名簿だけはきちんと  
作っておきたいね。

澤田●データそのものは、これからは積み上  
げていくことはしていきます。ただ名簿とし  
て発行するかどうかは、一人ひとりどこまで  
載せて良いか確認が必要で、個人情報  
保護法の問題もあります。量質共に相当な  
作業になるので、どうするかは先輩方の意見  
も伺いながら、常任幹事会で議論してい  
たいと思います。そこは他校のこともよく勉強  
しながら進めていきたいと思つています。

辻慶一●今、他校はどこが出しているかな。  
澤田●最近では岐阜北高が出したと思  
います。

山村●岐阜高や県岐商が出しているはず  
だが、できれば作つて欲しい。過去には何冊  
も作つたが四冊目だったかな、名簿業者に発  
注の意見も有つたが、情報の流出防止のため  
にも、独自の方法で作ろうとなつた。

澤田●往復はがきで、載せていいのかわ、載せ  
るならどの範囲かを確認する手順が必要  
になると思つています。またその辺を勉強してい  
きます。



### 《ながれ発行について》

山村●今回A4だと紙  
面のポリウムが減るの  
かな。

澤田●十六ページです  
からポリウムは増える  
と思つています。

山村●ながれを発行す  
るのに随分苦労した、金  
がなくて半分だけ発送  
したこともある。今年  
は偶数の人、次は奇数の  
人。これは批判があつた  
から二年でやめたが、そ  
のくらいお金が無い時代  
もあつた。送つてこない  
らそれでもいいぞとい

声もあつた。会費払わなくてもいいから  
(笑)。でも、何で送つて来んのやというクレ  
ームもあつた。楽しみにしてくれてたんやね。

辻慶一●紙を薄くして軽くできないかと  
昔は色々苦労したね。六十周年の時は、学  
校が記念誌を作つた。写真をCDにして付  
品にしたりしている。学校の七十周年に合  
せて、記念誌としてどこまで出来るか。問題  
は、記念誌を買わないとわからないという  
ものがあるのか。だから、ながれなら全員に送  
るので二回三回の連載として記事にするか、  
そういうことも考えてやつている。

山村●三十周年四十周年の記念誌は「長  
良」の延長。学校が出している。五十周年は、  
それを後ろにくつつけた。それで完全に同窓  
会の記念誌にした。学校が理解してくれ  
たら出来た。

玉井●それから、ながれにページ別紙の  
紙を作つてはどうかと思う。別紙にして  
おけば、内容的にも応用が効くし沢山の  
同窓生に協力してもらえらると思つ  
つていいよ。関東支部メンバーにも  
支部とはもつともつと連携し協力して  
もらつていいよ。関東支部メンバーにも  
支部とはもつともつと連携し協力して  
もらつていいよ。

辻慶一●今、関東支部総会を毎年やるよ  
うになつてます。十一月二十三日、銀座  
です。十九期の伊藤照夫さんになら  
れて、若い人も沢山参加して  
ます。関東で活躍する卒業生  
の皆さんにも是非、参加して欲しい  
ですね。

澤田●長良高校同窓会は四年後には  
三万人を超えてきます。来春の卒業生  
には何と百周年の同窓会総会を担  
当してもらつていいよ。関東支部  
メンバーにも支部とはもつともつと  
連携し協力してもらつていいよ。  
関東支部メンバーにも支部とはも  
つともつと連携し協力してもらつ  
ていいよ。

# 恩師からの熱い思い出

## 長良高校の思い出は私の宝物



澤井 和弘

在任中、三年生の担任を

何回かさせていたのだが、その時々、自分の進路についてリスクになることを考えるよりも、自分の進路希望実現に向けて前を向いてチャレンジしている生徒たちのひたむきな姿に心を打たれたのをよく覚えている。見事に自分の目標を達成した当時の生徒たちのチャレンジ精神と努力には本当に感服したものだ。

また在任中、女子バスケット部の顧問をさせていた。県大会にも出場できなかったチームだったが、一生懸命に練習し、赴任してから二年目に初めて県大会に出場できた。それ以後県大会では二回戦まで進めればいい方だったが、県大会には常時出場できるようになり、生徒たちがチームの一員としての自覚を持ち、もともと上を目指して頑張るようになった姿を見て、当時とても頼もしく思ったものだ。

様々な分野で活躍している卒業生に出会うことも多い。そんな時とてもうれしく思うと同時に誇りにも思う。更なる活躍を心から願っている。

長良高校での思い出は私の人生の大切な宝物であり、これからも大切にしていきたいと思っている。

## 友情深し長良高校

### 第三十九期卒業生の思い出



成瀬 正樹

長良高校同窓生の皆さんお元気でしたか。私は昭和六十年四月から平成七年三月まで十年間、学級担任、国語科、生徒会顧問、バレーボール顧問などを務めました。その間に多くの先生方や生徒達との出会いがありました。

当時は本館校舎の建て替えがありました。旧校舎は私が中学三年のときに英検の面接試験を受け、た懐かしい校舎でした。仮設の校舎は立て付けが悪く、定期試験中に突然雨漏りがして、教室の中で傘をさして試験を行った記憶があります。

この学年の生徒達とはかく人の繋がりを大切にしています。文化祭が終わった後は、戦後建てた古くて小さな自宅に入りきれないほどクラスの生徒がやってきて、家族と一緒に楽しく談笑しました。卒業式の後は学校近くの公民館で盛大にお別れ会を開きます。

した。今は二児の母親となった当時十歳だった娘も参加して、全員で色紙をつくりました。同級生の水谷直美さんと結婚した佐治由文君が大切に保管してくれています。福園裕子さんからは、大学卒業後に結婚式への出席依頼があり、幕張のホテルで開かれた結婚式に出席し宿泊しました。翌日は女子バレーボール部の県新人戦で暗いうちから新幹線を乗り継いで、試合会場の岐阜三田高校に到着したのは試合開始直前でした。

長良高校に赴任したのは、昭和五十九年四月、三十歳の年であった。二年目に一年の担任となり、そのまま持ちあがって昭和六十三年三月に卒業生を送った。第三十九期生である。長良高校には十二年勤務し、持ちあがり担任をしたのはこの学年のみである。

当時二十代の先生は少なく、経験豊かな先生ばかりで様々なことを教わることでできた。どうしたら生徒に楽しく理科を教えることができるか、いろいろと考えることができた。光電効果や放射線の実験装置を考案したり、コンピュータを使った授業をしたりと、振り返ってみると理科教員として一番充実した時期であった。こうしたことができたのも、好奇心旺盛な真面目な生徒に恵まれていたからと思っている。

部活動では軟式テニスを担当したが、三年目に指導経験の全くない水泳部となった。これが縁でその後三十年間水泳と関わることになり、現在も岐阜県水泳連盟の競技役員をしている。部活動の指導は得意ではなかったが、優秀な生徒のおかげでインターハイには秋田、富山、鳥取と引率させてもらい、良い思い出となっている。

教員仲間として思い出深いのは、文化祭での職員劇である。二ワトリの夫婦役があった時には、黄色のストッキング姿で二ワトリに扮するのを先輩教員から要求された。生徒に受けるために、若い教員は何でもやらされた。職員劇の取り組みは、仕事が終わってから始まるため、直前一週間は夜十一時近くになることが多く大変だった。しかし普段教鞭をとる教員が、様々な役に扮して登場するたびに体育館に歓声が沸き起こり、楽しいものであった。こうしたことが、仕事の仲間を超えて友人としての関係を築き上げてくれた。

長良高校で勤務したこと、は私にとつての誇りであり、そう思わせてくれるのは、そこで関わった多くの生徒と先生方、そして長良高校が持っている伝統であると思える。

長良高校は、自分にとって第二の母校である。ますますの発展を祈念している。

## 長良高校は第二の母校



古川 学

部活動の指導は得意ではなかったが、優秀な生徒のおかげでインターハイには秋田、富山、鳥取と引率させてもらい、良い思い出となっている。

長良高校に赴任したのは、昭和五十九年四月、三十歳の年であった。二年目に一年の担任となり、そのまま持ちあがって昭和六十三年三月に卒業生を送った。第三十九期生である。長良高校には十二年勤務し、持ちあがり担任をしたのはこの学年のみである。

当時二十代の先生は少なく、経験豊かな先生ばかりで様々なことを教わることでできた。どうしたら生徒に楽しく理科を教えることができるか、いろいろと考えることができた。光電効果や放射線の実験装置を考案したり、コンピュータを使った授業をしたりと、振り返ってみると理科教員として一番充実した時期であった。こうしたことができたのも、好奇心旺盛な真面目な生徒に恵まれていたからと思っている。

部活動では軟式テニスを担当したが、三年目に指導経験の全くない水泳部となった。これが縁でその後三十年間水泳と関わることになり、現在も岐阜県水泳連盟の競技役員をしている。部活動の指導は得意ではなかったが、優秀な生徒のおかげでインターハイには秋田、富山、鳥取と引率させてもらい、良い思い出となっている。

教員仲間として思い出深いのは、文化祭での職員劇である。二ワトリの夫婦役があった時には、黄色のストッキング姿で二ワトリに扮するのを先輩教員から要求された。生徒に受けるために、若い教員は何でもやらされた。職員劇の取り組みは、仕事が終わってから始まるため、直前一週間は夜十一時近くになることが多く大変だった。しかし普段教鞭をとる教員が、様々な役に扮して登場するたびに体育館に歓声が沸き起こり、楽しいものであった。こうしたことが、仕事の仲間を超えて友人としての関係を築き上げてくれた。

長良高校で勤務したこと、は私にとつての誇りであり、そう思わせてくれるのは、そこで関わった多くの生徒と先生方、そして長良高校が持っている伝統であると思える。

長良高校は、自分にとって第二の母校である。ますますの発展を祈念している。

# 同窓生だより

## 開拓者魂を胸に

片桐 良子 (39期)



私は学生時代と教員のあわせて十四年間を長良高校で過ごしました。担任として送り出した教え子は、五十九期、六十一期、六十三期、六十六期の皆さんです。久しぶりの母校は、陸上部の仲間とグラウンドを走っていたあの頃と変わらず、活気にあふれていました。母校で教壇に立てたことは、卒業生として大変幸せなことだと感謝しています。

三年前の三月、長良高校を去る際の離任式で、卒業生を前に母校への思いをこう語りました。

多くの卒業生が大学合格を目指して、本気で勝負に挑み、最後まで諦めず頑張りました。希望が叶った人も、残念な結果に終わった人もいました。できることなら全員合格させてあげたかった・・・

本気で頑張ってもどうにもならないことが世の中にはあります。うまくいかないことの方が多いかもしれません。

ある卒業生が受験の結果報告に来てくれました。不合格の報告でした。「合格したかったけれど、やるだけやって落ちたのだから悔いはない。」

そう話す顔は、まっすぐ前を向いてとても生き生きしていました。「全力でやりきった」と言える人間は、失敗したとしても挑戦したことを後悔しません。挑戦しないで諦めるより、挑戦して失敗した方がいい。それは長い人生の中では「負け」ではなく、挑戦した勇気が必ず次の一歩を踏み出す力となるからです。そして最後にこの言葉を贈りました。

「一番いいことは、一生懸命やつて勝つこと。その次にいいことは、一生懸命やつて負けること」

先の見えない不安に臆せず、一歩を踏み出すその勇氣こそ、長良高校の校訓「開拓者魂」です。長良高校の生徒は、「開拓者魂」を胸に、たくましく母校を巣立っていきます。長良高校は、今も昔と変わらず素晴らしい学び舎です。卒業生として、わが母校の更なる活躍を楽しみにしています。

## Proud as a Nagara High alumna

山田 百斗代 (39期)



教室の窓から望む金華山、剣道場に響く気合の声、竹刀の音。今となつては、夏休みに通った、英語の補習授業も懐かしく思い出されます。あの頃、恩師である古川学先生や文武両道で堂々とした先輩方の背中を尊敬と憧れの眼差しで見えていました。私は実力も無いのに夢ばかり大きい落ちこぼれの生徒でした。そんな私でしたが、高校卒業の時にご縁に恵まれ、大きな夢とともにアメリカに留学しました。無謀だと言う人も多くいましたが、太平洋を越えて届く家族や友人の手紙に励まされて頑張ることができました。

故郷のことに無知で無関心だったかを思い知らされ、改めてそのありがたさや素晴らしさを実感しました。異国で暮らす月日の方が長くなった今でも、心の奥深くは岐阜の地に根付いています。胸を張り「私の出身は岐阜だ、長良高校だ」と人にも自分にも言える故郷があるからこそ揺るがず頑張れる気がします。私の心の拠り所は、いつも誇れる日本、そして岐阜です。

昨年の夏に出席した三十年ぶりの三十九期同窓会では、故郷に残り岐阜のために頑張っている仲間が特に輝き、たくましく見えました。私の大切な故郷を支えてくれる仲間や先輩方に感謝いたします。

高校時代を振り返り、当時の自分の青さに苦笑しつつ、長良高校が与えてくれた環境、恩師、仲間感謝し、益々の長良高校卒業生の活躍をお祈り致します。

With piece of Gifu in my heart

# 同窓生だより

## 部活から学んだ精神力

田原 義之 (39期)



今：こうやって昔の記憶に久方振りに対峙して、フラッシュバックする様々な出来事を辿り巡りながら思うこと。十代の後半：もつとも多感な時期を長良高校で過ごした経験値は、まさに今、自分の生きている、歩んでいる「路」に活かされているのだな、と、あらためて感じます。

私は今、東京の出版社に勤務しています。雑誌編集をメインに映像制作やウェブ事業など、多様化するメディアに対して日々奮闘しています。編集という仕事は、とにかくにも気力&体力勝負。色々なことに気を配り、アンテナを張り巡らせながら常に発信し続ける。パワーとスタミナを必要とする脳内ガテン系職業。

私がこうして踏ん張り続けていられるのは、現在も活躍がめざましい我が高校の水泳部での鍛錬があったからではないかと思うのです。

うのです。

晩春から晩秋にかけての入水練習では冷水下における活動の限界を知り、トップシーズンの間は早朝から放課後まで日の光を浴びることで、見事なゴーグル焼け(通称・逆パンダ)を披露。また、夏季休業中の強化合宿では、帰宅後、夕飯を食べながら睡眠をとるという時間短縮の芸当を身につけたりました(笑)。

あいにく、競技成績に關しては活躍できるほどの伸びはありませんでしたが、何事にも耐え忍ぶ精神力と、焦らず従事できる芯のある平常心を養うことができました。多感な時期に体感したからこそその真の学び。さすがに当時の三年間は、苦辛の鍛錬が意味することなど理解にも及びませんでした。：「ただひたすらに、やりたいうことをがむしゃらに。やるべきことを粛々と」。校訓にある『気魄』という二文字は、自ずの内にある、くすぶつたヤル気をおおる良い文言だと思えます。この年になっても未だ足りない学びと遊び：これからも万事気魄をもって臨みたいですね。

## 自由な校風で培われた柔軟に楽しむ力

谷口ももよ (39期) (旧姓亀ヶ谷百代)



高校時代、特に二年の時女子クラスでとても自由で楽しい高校生活を過ごすごうができました。今でもその当時のクラスメイトとは近況を報告したりしています。みな楽しいことが大好きで、勉強を進んでする雰囲気でもなかったのですが、やることは卒なくこなし、時には一緒に塾にも通ったりしながらも楽しむことを忘れない。長良はそんな自由な校風があったと思います。

「自分のやりたいことをやっていきたい」自由な高校時代に備わった柔軟性のある「目標」のよいうなもの、それが今の私の基盤になっています。

しかし東京の大学に進学したものの、卒業後明確な目標が見つからず、アパレル、広告代理店と職を変え模索する年月が続きましたが、どんな時

でも楽しむことを忘れず、柔軟に対応していくこと、それが自分のやりたいことに向かっていく気がしていました。その後結婚出産で仕事から何年か離れましたが、あるきっかけで十年ほど前から薬膳料理研究家として東洋医学や食養生を伝える活動をしています。一昨年社団法人も設立し、何冊か書籍も出版させていただきました。当時は夢にも思っていないかった食の仕事ですが、どんな局面も楽しく柔軟に向き合ってきたからこそ今の自分につながったと確信しています。もちろん壁に突き当たったり、大変なことでも沢山ありますが、「柔軟に楽しむ力」これが人生を切り開く原動力だと思っています。そんな力を育ててくれた長良の校風、あの三年間にとっても感謝をしています。

長良高校の同窓会に昨年初めて参加し、とても感動しました。本年度は私たちの期が幹事を務めます。今年もまた沢山の方々にお会いできることを楽しみにしております。

# 同窓生だより

## 歳とともに

辻 勇(9期)



春の陽射しのなかで桜が咲く予報がこちらこちらで聞かれている頃です。私は九期卒業で現在七十八才となり遠く昔人となりました。今は我々のことを後期高齢者という有難くもない、甚だ以つてけしからんと思う次第である。

ある日、女房殿との会話で桜を観られるのは後何回ぐらいたと喋っていると、横から愚息が耳に言う。人間元気で人に迷惑をかけずに好きな事を多いに身体を動かし、七十歳過ぎた今は健康年齢中であるから、御負けの人生を一年でも二年でも積み重ねなさい。それによつて私達夫婦、孫達も楽しい生活が続くよ、つて子供に言われ、老いて子供に教えられたな。

十代後半から二十代だろう、それでは知力の方はどうか、私の勝手な考えですが、おおよね四十代にピークを過ぎ、それ以上地位を保つのが大変であるが、それ以上の仕事を続けることが多いのが現実の姿。何故それが可能なのか、それは社会的構成によるもので、それは若い人達から多く支持され又敬意を表されることにより一層その人を高い地位に押し上げ、より大きな仕事をさせているのではないだろうか。

五十代、六十代になつても、また三十代、四十代の人たちも、自分たちの持てる力がより生かされるのは先輩たちの豊かな経験に導かれているからだという事ではないでしょうか。加えて、やがては自分たちも歳をとり、将来は自分たちもこの先輩たちと同様の立場に立つのだという考えを持つに至る。老いも若きもその年齢による違いを尊重し合い、より力強い社会の働きというものが生み出されてくるのではないのでしょうか。また、皆さんを育てあげてくれた緑豊かな金華山に包みこまれた心も大切にしましょう。

## 再会

村瀬 克彦(29期)



最近こんな言葉を耳にしました。「出会いは偶然、別れは必然」。では、「再会」とは…。

私の高校時代の思い出といえば修学旅行と体育祭です。修学旅行の行き先は秋芳洞、宮島、平和公園、倉敷、姫路城でした。人はなぜか良い思い出よりアクシデントのあつた方を記憶するようで、帰りの新幹線が台風による川の氾濫のため、相生(姫路間の線路上)に五時間程停止したのをよく覚えています。一皿のカレールイスを四人で分け合い食べました。運行再開後、川に架かる鉄橋で、濁流に飲まれ屋根だけが見える光景に驚きました。そして岐阜に到着二日後、安八墨俣で長良川の堤防が決壊しました。あの九・二災害です。絶対忘れることのない修学旅行でした。もう一つの思い出

体育祭では、東団の応援団員として応援歌「紺碧の空」の指揮を執ったことです。団員みんなの結束の下、応援の部・競技の部、両方で完全優勝を果たす事ができました。少しはみんなの役にたてた瞬間でした。

さて、冒頭の「再会」の意味については、私達は入試によつて同じ高校に入學し、偶然出会い「絆」が生まれます。三年間同じ時を過ごしますが、やがて卒業によつて別れを迎えてしまいます。しかし、長良高校同窓会では、三十年後にメインホストとして再び会うことができるのです。「再会」の意味とは、あの時の「絆」を確かめ、より深く合うことだと私は思うのです。

最後に、本年度は三十九期がメインホストで、我々二十九期がサポートホストになります。十年前を思い出し、大勢の参加協力で後輩たちの後押しをしましょう。そして来年迎える還暦祝いの計画や近況を語り合ひましょう。

# 同窓生だより

## 高校時代の思い出

大江 哲郎 (49 期)



私の高校時代の思い出は叱られた思い出がほとんどです。体育科の鈴木寿喜先生に叱られたのは私だけではないはずで、また野球部では鈴木賢治先生に「大江は、やかましいから帰ってけ。」と言われたこともありました。声を出していたのですが、しかし三年間担任をしていた仲松先生はいつも慰めてくださいました。高校時代の連絡方法はポケベルでした。今思うと、あの文字数のためになぜあんなにも公衆電話に並んだのでしょうか。時代ですね。

現在は長良高校の教諭として働いています。国語の先生です。野球部の顧問もしています。赴任したのが二年前で校長先生はあの鈴木賢治先生でいらつしやいました。野球の練習試合で他校へ行った際には、鈴木寿喜先生ともご挨拶をさせていただきました。国語の研修会では仲松先生がいらつしやったこともあり、また事務室の横にありました。ただ事務室の横にありません。

私は長良高校に育ててもらい長良高校でひと花咲かせたいと思つてここに至ります。自分自身、様々な学校を経験し思うことは、長良高校が特別な学校だということですね。絵に描いたような学園だと思つています。だからと言つて長良高校の思い出すべてがいい思い出とは言えない卒業生もたくさんいます。いろんな人がいます。しかし唯一言えるのは母校だということ。いいか悪いかは別にして自分の原点となる学校だということ。それを自覚して大切にしてほしいです。

そして、毎年盛大に行われてます同窓会総会・懇親会にはぜひご参加下さい。高校時代の懐かし思い出が甦ります。

## 夢に向かって

佐藤 聡 (59 期)



私の長良高校時代は『野球』でした。全ては野球の為に、食生活を管理し、体を鍛え、自分自身をレベルアップさせる為に行動した三年間でした。

県内外の野球強豪校からの誘いを断り、長良高校へ進学した私はそんな強豪校を倒す事で頭がいっぱいでした。限られた時間の中で勉強に野球、文武両道を掲げて、がむしゃらに駆け抜けた日々だったと記憶しています。ただ、今でも最後の夏の大会を思い出す事があります。それは本当に後悔をしているからです。当時、高校生の時に感じていた思いと、大学時代、そして現在社会人となり振り返つて思う事では大きな違いがあります。

まず、大学に野球で進学した私は、一つレベルの高い野球を学ぶと共に

高校で自分が精一杯『努力した』と思つていた練習がアップ程度のものであった事に衝撃を受けました。あの時今の練習がまだまだという事に気づいて、さらなる努力が出来ていたら：そう思うと今でも悔しさが溢れてきます。卒業して環境が変わる事で、初めて気づかされる事が多くあります。社会人野球を経て、野球から一線を退いた現在では、本当に野球が好きだった事に気づかされました。仕事に追われる忙しい日々の中で、好きな事に本気で向き合う時間がある高校時代がいかにかけるがえの無いものなのかという事にも気づく事が出来ました。やりたい事をやれる、それが高校時代だと思います。

私が在校生に伝えたい事は、かけがえの無い高校生活、一分一秒を無駄にする事なく、将来の夢に向かっての第一歩となるような日常を過ごすようにして欲しいという事です。好きな事に何も考えずに熱中できるのが高校時代です。

# 学園だより

## 声にのせて

あじさい看護福祉専門学校 看護学科

寺中 千紗(69期)



私は、高校三年間、放送部に所属していました。毎日欠かさず、発声練習と原稿読みを行い、滑舌や表現力を磨きました。放送部って何をしているのだろう？と疑問を抱きながら何気なく入部した部活でしたが、三度の全国大会出場まで成績を残すことができました。二年生の夏に初めてNHK全国放送コンテストに出場し、そこでは自分の朗読のはるか上を行く強者達の心に響く読みに刺激を受けました。もっと上手になりたい、と心の中で何かメラメラと燃え上がっていたのを今でも覚えています。そこからの練習にはより一層力が入りました。全国大

会上位者の録音CDを何度も聴いたり、現役アナウンサーの方に直接指導していただいたりしました。練習を重ねるごとに、言葉の持つ意味をきちんと考え、聞き手を意識した朗読ができるようになりまし

た。時には、喉の調子が悪くなり、声が出せなかったり、なかなか上達せず、朗読練習から距離を置くこともありました。しかし、三年間続けることができたのは、一本のマイクを通して自分の声だけが会場全体に響いていく感覚を味わっていたからです。朗読をすることで、沢山の人の自分の声を聴いてもらえたことは、自信に繋がりました。朗読は自分の武器の一つになりました。

これからも、放送部で培った力を大切に、言葉では伝えきれないことや表現できないことは多くあると思いますが、ひとつひとつの言葉に想いをのせていきたいです。

## コーラス部で得たもの

愛知淑徳大学  
グローバルコミュニケーション学部

伊佐地 真子(69期)



私は、高校三年間、コーラス部に所属し、いろいろな経験を通じて、たくさんの方のことを学ぶことができました。

入学式での先輩方の演奏に感動し、憧れを持って入った部活は、楽しいことばかりではありませんでした。中でも、思ったように歌うことができないで苦戦したり、仲間と衝突したりすることもありました。また三年生で部長を務めた際、自分の思いを相手に伝える難しさを学びました。そんな時、周りにいてくださった先生や仲間の力を借り、問題を解決していき

ました。

そのような壁を乗り越え、二年生の三月に行われた声楽アンサンブルコンテストを迎えました。指揮も伴奏もないアンサンブルコ

ンテストは、呼吸を合わせることが重要になってきます。そのため、話し合いを重ね、十二人全員が呼吸を合わせられるよう多くの時間を共有していきましました。その甲斐あって、金賞をとり、全国大会に出場することができました。

また、この大会以外にもアクアタイムズや外国の方々との共演など、さまざまなことを経験し、多くの人と出会い、広い世界を見ることができ、高校生活においてかけがえのないものとなりました。一緒に活動してきた仲間、指導してくださった先生、支えてくださった保護者の方々に感謝し、その経験を今後活かしていきたいです。

# 昨年度 総会・懇親会



昨年度実行委員長  
榎本 尚浩 (38期)

## ありがとうございました



平成二十九年、我々三十八期が三年生の時に、取り壊された長良高校旧校舎の秘蔵ビデオ映像では、旧校舎前での最後の式典風景、校舎内部の様子、懐かしい先生たちが忙しく活動する姿など、旧校舎で学んだ卒業生の皆様に

また、岐阜放送で放送された長良高校卒業生のロックグループ「アタキムズ」と現役長良高校コーラス部の皆さんとのコラボ映像や、サックス、パーカッション、グループのボウルの皆さんの生演奏も楽しんでいただきました。

今回の懇親会も二十八期でみなさんに楽しんでいただけたよう、色々な企画を考え、準備いたしました。はじめての試みだと思いますが、各期の卒業アルバム写真を各テーブルに用意しました。皆様、懐かしい高校生時代の自分、同級生、後輩の写真を見ながら、大いに盛り上がりたかったです。

また、同窓会常任幹事会の方々、サブホストの三十七期、二十九期、そして各期の幹事の皆様、校長先生をはじめ諸先生方のみなさまの心強いご支援とご協力に心より感謝申し上げます。



卒業二十年后に、同窓会のメインホストという仕事をいただき、二年間二十八期の仲間と共に活動してきましたが、この活動を通して再び、友情と親交を深めることができ、本当に素敵な経験をすることができました。最後にありますが、企画、準備、当日の運営、そして当日多数参加してくれた二十八期の同級生のみならず、このような機会をいただいた長良高校同窓会に心から感謝を申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

は、大変懐かし、昔を思い出していただけではないかと思えます。

懇親会のフィナーレをかざる、恒例の長良高校校歌の大合唱では、平成二十八年度の高校野球夏の大会、県岐商と激闘の試合のハイライト映像で大いに盛り上がり、勝利の校歌斉唱を、長良高校野球部元球児とともに大合唱することができました。試合のハイライトシーンでは、会場内はライブ映像を見ているような盛り上がりを見せ、校歌斉唱も、いつも以上に力のこもった大合唱になりました。



# 関東支部のコーナー



## 『関東支部同窓会で盛り上がりま笑!』



関東支部総務幹事  
伊藤ひろ子(19期)

平成二十五年第九回の関東支部同窓会から事務局になった十九期の伊藤ひろ子(旧姓倉橋)です。岐阜での本部同窓会にもあまり参加していません。私でしたが、関東支部の先輩方の熱意に後押しされて、事務局を引き受けました。

平成二十七年までは隔年で開催されていましたが、関東支部を創られた先輩方の熱い思いから、平成二十八年から毎年開催となりました。

私は、長良高校に通っていた兄の影響を受け、入学しました。兄は陸上部に所属し、一九六四年の東京オリンピックに出場された兄と同期の十六期の小川清子さん、十八期の佐藤美保さん達と練習をしたことから、兄を通して昨年平成二十九年の関東支部同窓会にお誘いしましたが、残念ながら都合が悪く出席されませんでした。嬉しいこと

にその関係で十三期の藤本正子(旧姓木崎)さんが出席され、自己紹介の中でさりげなく「東京オリンピックに出場した」とお話しされ、会場中に騒めきが起こりました。改めて、長良高校には本当に凄い経歴の持ち主がいらつしやることに驚きを感じました。このような方々とお会いできると思うとワクワクします。

同窓の仲間は、すぐに打ち解けて話せるものです。仲間の活躍は嬉しいものですね。自身の近況をコマージュできる絶好の機会です。おかげさでもいいんです。皆さん楽しく聞いてくれますよ。是非、同期の仲間を誘って関東支部の同窓会に参加してください。関東以外の方でも大歓迎です。年々若い方の参加も増えていきます。平均年齢を下げることに是非ご協力ください(笑)

今年も十一月二十三日(祝)に銀座で行います。岐阜の名菓鮎菓子や味噌松風の販売や四十八期の木方さんが岐阜から携えて自社の美味な味噌商品の販売も予定しています。ご期待ください。

### 関東在住の皆さん、全員集合! 11月23日(祝)は関東支部同窓会の日

関東支部長 伊藤 照夫(19期)

関東支部の同窓会は、毎年十一月二十三日(祝)に開かれています。年に一度、青春時代を過ごした清流長良川の流れ、美しい金華山の緑を思い出し、語り合います。

昨年、立教大学が五十九年ぶりに日本一となった原動力・六十五期の大東君(立大四年)が出席。長嶋茂雄元読売巨人軍終身名誉監督の目の前でHRを放ち、栄えあるMVPに輝いた話が出ました。また、前回の東京オリンピックに出場した十三期の藤本正子(旧姓木崎)さんも参加され、その思い出話を聞きました。

楽しいスポーツに関する話題が昨年の同窓会を飾りました。そして、TVコマージュに出演されている十五期の宮城光宏さんの最近のCMの話などなど楽しい話が盛り沢山でした。岐阜からお越しの澤田同窓会長、福井

副会長(息子の洋平さんと一緒に参加)安藤副会長、三輪さん(長良高校教諭)のご出席に感謝します。

長良高校卒業という共通の仲間意識が日頃味わえない開放感を生みます。関東支部同窓会は、気を遣わないストレスフリーの時間です。日頃の心の疲れをどうぞ癒しに来てください。今から十一月二十三日は関東支部の日に予定してください。お待ちしております。



平成29年度 関東支部同窓会

## 第66回全日本大学野球選手権(平成29年6月)

### 最高殊勲選手獲得!



大東 孝輔 (65期)

高校三年間、チームの目標であった甲子園で校歌を歌うことを達成することができず、とても悔しい思いをしました。高校最後の大会は自分のミスが原因で負けてしまったので、チームメイトは変わってしまいました。大学でなんとか結果を残したいという思いで大学生活を送りました。進学は多くの方の支えもあって指定校推薦で立教大学に入学することができました。入学当時部員は二〇〇名おり、高校とのレベルの差に圧倒されましたが、大学で結果を残したいと思い練習した結果、大学四年春で東京六大学野球リーグ戦優勝を果たし、全日本大学野球選手権では日本一に貢献することができました。チーム全員で優勝を勝ち取ることができたことが何より嬉しかったです。また日本のスーパースターの長島茂雄さんからお褒めの言葉を頂けたことはこの上ない幸せでした。



初戦 富士大戦 同点2ラン

た。開拓者の気魄でスポーツにあたりという校訓が母校に帰ってくるたびに頭によぎり、頑張れる源になりました。

進路は社会人野球チームの明治安田生命へ入社します。また高いレベルで野球ができることを幸せに感じ励んでいきます。まずレギュラー獲得を目指し、都市対抗優勝できるよう精一杯頑張っていきます。こうして大好きな野球が続けられるのも、高校時代に熱心に指導して頂いた先生方、大学進学後にも結果を気に掛けて頂いた方々のおかげです。本当に感謝しています。

高校生の皆さんも卒業したら、高校時代に授業や部活動で培った経験が心の支えになると思います。充実した学生生活を送って下さることを願っています。

## 10期生喜寿同窓会

実行委員会事務局長 白橋 國弘(10期)

長良高十期生(昭和三十四年卒)の同期同窓会は、これまで昭和五十五年二月と古稀を迎えた平成二十二年十月に開催して来ましたが、喜寿を迎え開催の気運が高まり、昨年平成二十九年十月二十七日、八十八人の参加を得て岐阜グランドホテルにて、盛会にまた極めてなごやかに開催、校歌にある「友情深し長良高校」の絆を高め高め合うことが出来ました。

楽しい愉快なひととき、時間はアツという間に過ぎ、次会は「傘寿の会を!!」の声もあり、再会を誓い合い乍ら散会しました。



## 長良高校コーラス部 同窓会の案内

第8回コーラス部同窓会を下記のとおり開催します。毎回多くの会員が参加され、世代を超えて楽しく懇親を深めています。

■日時/平成30年6月3日(日) 11:00より

■場所/グランヴェール岐山

岐阜市柳ヶ瀬通6-14 TEL.058-263-7111

■会費/6,000円

◆総会(会計報告)  
懇親会(来賓挨拶、70周年記念参加者全員合唱、歓談)

●申し込み方法 下記までご連絡下さい  
コーラス部同窓会 会長 浅野晃一郎(10期生)  
TEL/FAX 058-251-4839

## 総会会場販売!!



オリジナルTシャツ  
●1,500円

「開拓者魂」  
座馬井部 先生 筆  
OBの皆さん、  
大切にしましょう!



このCDは、毎年卒業生に生徒会が贈っているものです。OBからの要望もあり、増版致しました。総会会場販売しています。

校歌・金華の峰CD ●1,000円

「校歌」 1.コーラス部 「金華の峰」 1.コーラス部  
2.名古屋フィル 2.吹奏楽部

## 40期生の皆さんへ (昭和63年度卒業生)

次年度(2019年)の70周年記念総会・懇親会は、40期生がメインホストとして運営を行います。サブホストとして本年度総会・懇親会に大勢参加して、先輩達から運営方法を学びましょう!

# 平成29年度 部活動実績一覧



全国総合文化祭 文芸部・放送部 出場

NHK杯全国高校放送コンテスト 放送部（アナウンス部門、朗読部門） 出場

【運動系】				【水泳】				【バドミントン】			
【サッカー】				◆県高校総体				◆県高校総体			
◆県高校総体				女子				女子 団体			
◆高校選手権				200m自由形 7位				女子 団体			
◆県高校新人				400m自由形 7位				男子 ダブルス			
【陸上競技】				100m背泳ぎ 6・8位				男子 団体			
◆県高校総体				200m背泳ぎ 4・8位				女子 シングルス			
男子				100m平泳ぎ 3位				◆卓球			
4×100mR 8位				200m平泳ぎ 3位				◆県高校新人			
4×400mR 8位				100mバタフライ 5位				男子 団体			
100m 6・8位				200mバタフライ 7位				女子 団体			
200m 5位				400mフリーリレー 5位				出 場			
400mH 6位				400mメドレーリレー 4位				◆東海選手権			
5000mW 7位				総合 5位				女子 個人			
4×100mR 2位				出 場				【吹奏楽】			
4×400mR 3位				◆東海高校総体				◆吹奏楽コンクール			
三段跳 7位				◆県高校新人				中部日本吹奏楽コンクール			
やり投 5・6位				50m自由形 5・6位				小編成の部			
7種競技 2位				100m自由形 8位				金 賞			
◆東海高校総体				100m背泳ぎ 7位				【コーラス】			
◆県選手権				200m背泳ぎ 5・7位				◆県合唱コンクール			
100m 5位				100m平泳ぎ 8位				金 賞			
200m 3位				200m平泳ぎ 5位				◆NHK全国学校音楽コンクール(県)			
4×100mR 4位				100mバタフライ 1位				◆NHK全国学校音楽コンクール(東海北陸)			
7種競技 優勝・2位				200mバタフライ 2位				◆中部合唱コンクール			
出 場				400m個人メドレー 5位				◆ぎふヴォーカルアンサンブルコンテスト			
◆県高校新人				400mフリーリレー 4位				金賞・教育委員会賞			
男子				400mメドレーリレー 5位				【書道】			
3000mSC 2位				総合 5位				◆県青少年美術展			
4×400mR 6位				200m自由形 2位				書道部門			
走高跳 6位				400m自由形 5位				優秀賞			
三段跳 5位				100m背泳ぎ 6位				◆全日本高校・大学生書道展			
200m 5・7位				200m背泳ぎ 4・7位				漢字部門			
400m 5・7位				100m平泳ぎ 1位				優秀賞			
4×100mR 優勝				200m平泳ぎ 2位				◆県高校総合文化祭			
4×400mR 優勝				100mバタフライ 4位				写真			
走高跳 2位				200mバタフライ 6位				H30年度全国総文へ			
走幅跳 6・8位				200mバタフライ 6位				【文芸】			
三段跳 2位				200m個人メドレー 5位				★全国総合文化祭			
出 場				400mフリーリレー 4位				短歌、俳句			
◆東海高校新人				400mメドレーリレー 3位				出 場			
【ハンドボール男子】				◆県選手権				◆県高校総合文化祭			
◆県高校総体				男子				俳句			
◆ハンドボール女子				50mバタフライ 8位				H30年度全国総文へ			
◆県選手権				200mバタフライ 5位				短歌			
◆県高校総体				200m自由形 7位				2・3位			
◆堤杯 県選手権				50m背泳ぎ 6・7位				【放送】			
【柔道】				200m背泳ぎ 7位				◆県高校放送コンテスト			
◆県高校総体				50m平泳ぎ 6位				朗読部門			
◆県新人大会兼選手権				100m平泳ぎ 7位				アナウンス部門			
女子 個人				200m平泳ぎ 8位				3・6位			
女子 個人(48kg)				50mバタフライ 5位				出 場			
女子 個人(57kg)				100mバタフライ 6位				アナウンス部門			
【剣道】				◆県選抜				出 場			
◆東海選抜				◆東海選抜				出 場			
【バレーボール男子】				◆県高校総体				★全国総合文化祭			
◆県高校総体				◆県選手権				◆県高校放送コンテスト新人大会			
◆県選手権				◆県高校新人				朗読部門			
◆県高校新人				【バレーボール女子】				朗読部門			
◆県高校総体				◆県高校新人				5位			
◆県高校新人				【水泳】				朗読部門			
◆県高校総体				◆県高校総体				6位			
男子				50m自由形 8位				団体：県大会ベスト8以上			
50m自由形 8位				100m背泳ぎ 1位				個人：8位以上			
100m背泳ぎ 1位				200m背泳ぎ 5位				(平成29年4月～30年3月末まで)			
200m背泳ぎ 5位				200m平泳ぎ 8位				★全国大会 ●東海大会 ◆県大会			
200m平泳ぎ 8位				100mバタフライ 5位							
100mバタフライ 5位				200m平泳ぎ 7位							
200mバタフライ 2位				200m平泳ぎ 8位							
400mフリーリレー 5位				50mバタフライ 5位							
800mフリーリレー 5位				100mバタフライ 6位							
総合 5位											

同窓会では部活動奨励として、自由に使って頂くように三十万円の部活動奨励費を高等学校にお渡ししています。部活動奨励費の授与式が昨年十月二十三日に校長室において行われ、澤田栄同窓会長から増田和伯校長にその目録が授与されました。各クラブの今後益々の活躍を期待しております。



部活動奨励費授与式

# 平成30年度入試 大学・短大・専門学校等合格状況

## <国立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
北見工大	工	1		1
岩手大	理工		1	1
茨城大	人文社会	1		1
埼玉大	教育	1		1
富山大	経済	2		2
	理	1		1
福井大	工	1		1
	国際地域	1		1
山梨大	工	3	1	4
	教育	1		1
信州大	教育		2	2
	地域科学	5	1	6
岐阜大	工	6	1	7
	医	3		3
	人文社会	2		2
静岡大	工	1		1
	教育	1		1
愛知教育大	教育	1		1
名古屋工大	工	2		2
	教育		1	1
三重大	工	1		1
	教育	1		1
京都教育大	教育	1		1
鳥取大	農	1		1
島根大	生物資源	1		1
広島大	総合科学	1		1
高知大	医	1		1
	理工		1	1
合計		43	8	51

## <公立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
前橋工科大	工	1		1
長岡造形大	造形	2		2
富山県立大	工	3		3
公立小松大	保健医療	1		1
福井県立大	経済	1		1
	生物資源		1	1
山梨県立大	人間福祉	1		1
都留文科大	文	1		1
長野県立大	グローバ	1		1
長野県看護大	看護	1		1
岐阜県立看護大	看護	3		3
静岡県立大	国際関係	1		1
愛知県立大	外国語	2		2
名古屋市立大	経済	1		1
滋賀県立大	工	1		1
神戸市外大	外国語	1		1
公立鳥取環境大	経営	1		1
島根県立大	総合政策	1	1	2
下関市立大	経済	1		1
高知工科大	経済マネ	1		1
諏訪東京理大	工	2		2
合計		27	2	29

## <大学校>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
防衛大学校	理工	1		1
合計		1	0	1

国公立大学 合計81名	合格者数		
	現役	既卒	合計
	71	10	81

## <私立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
青山学院大	大	1		1
学習院大	大	1		1
慶応大	大		1	1
国士舘大	大	1		1
駒澤大	大	1		1
女子栄養大	大	2		2
大東文化大	大	1		1
中央大	大		1	1
帝京大	大	1		1
東海大	大	1		1
東京家政大	大	1		1
東京女子大	大	1		1
東京造形大	大	1		1
東京洋大	大	1		1
日本大	大	2	1	3
法政野大	大	1		1
武蔵野大	大	1		1
明治大	大	2		2
立教大	大	2		2
立正大	大	1		1
早稲田大	大	1		1
神奈川大	大	1		1
金沢工大	大	5		5
福井工大	大	1		1
北陸大	大	1		1
朝日大	大	15		15
岐阜経大	大	2		2
岐阜女子大	大	9		9
岐阜聖徳学園大	大	53		53
東海学院大	大	3		3
中部学院大	大	7		7
岐阜医療科学大	大	26		26
愛知大	大	49		49
愛知医大	大	1		1
愛知学院大	大	27		27
愛知工業大	大	3	3	6
愛知淑徳大	大	33	2	35
愛知みずほ大	大	1		1
金城学院大	大	21		21
椋山女学園大	大	14		14
大同大	大	12		12
中京大	大	48	7	55
至学館大	大	5		5
中部大	大	49		49

## <私立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
東海学園大	大	12		12
同朋大	大	2		2
名古屋外大	大	28		28
名古屋学院大	大	11		11
名古屋学芸大	大	4		4
名古屋芸大	大	1		1
名古屋女子大	大	2		2
名古屋造形大	大	1		1
南山大	大	21		21
日本福祉大	大	8		8
藤田保健衛生大	大	7		7
名城大	大	57		57
豊橋創造大	大	1		1
名古屋文理大	大	2		2
愛知工科大	大	4		4
名古屋学芸大	大	5		5
岡崎女子大	大	1		1
一宮研伸大	大	3		3
皇学館大	大	2		2
鈴鹿医療科学大	大	1		1
びわこ成蹊大	大	3		3
京都外大	大	2		2
京都産大	大	1		1
京都橋大	大	2		2
同志社大	大	1		1
同志社女子大	大	1		1
立命館大	大	16	1	17
龍谷大	大	2		2
大阪芸大	大	1		1
大阪体育大	大	1		1
関西大	大	1		1
近畿大	大	5	3	8
四天王寺大	大	1		1
関西学院大	大	3		3
関西福祉大	大	1		1
神戸常盤大	大	1		1
立命館アジア大	大	1		1
合計		625	19	644

## <各種専門学校等>

学校名	合格者数		
	現役	既卒	合計
岐阜県立衛生専門学校	9		9
岐阜市立看護専門学校	5		5
名鉄看護専門学校	3		3
愛北看護専門学校	1		1
名古屋医療専門学校	1		1
一宮市立中央看護専門学校	4		4
あじさい看護福祉専門学校	1		1
中部看護専門学校	1		1
名古屋医療福祉専門学校	1		1
藤田保健衛生大学看護専門学校	1		1
朝日大学歯科衛生専門学校	1		1
その他	14		14
合計	42	0	42

## <国公立短期大学>

短大名	合格者数		
	現役	既卒	合計
岐阜市立女短大	12		12
合計	12	0	12

## <私立短期大学>

短大名	合格者数		
	現役	既卒	合計
山野美容芸術短大	1		1
大垣女短大	1		1
岐阜聖徳学園短大	5		5
岐阜保健短大	3		3
平成医療短大	4		4
名古屋女大短大	1		1
名古屋文化短大	1		1
京都外語短大	1		1
合計	17	0	17

## <就職・その他>

	合格者数		
	現役	既卒	合計
岐阜県警	1		1
防衛大学校	1		1
国税庁	1		1
岐南町役場	1		1
合計	4	0	4

## <進路先まとめ>

進路先	現役	既卒	合計
国立大学	39	8	47
公立大学	20	2	22
私立大学	1		1
私立短期大学	264	9	273
国立短期大学	6		6
私立短期大学	7		7
専門学校	28		28
就職	4		4
浪人	31	1	32
合計	400	20	420



## 平成29年度会費納入状況

H30.2.28現在

期	口数	期	口数	期	口数	期	口数	期	口数	期	口数	期	口数
1	3	11	67	21	32	31	33	41	14	51	2	61	1
2	26	12	70	22	49	32	65	42	7	52	11	62	3
3	42	13	30	23	34	33	59	43	3	53	5	63	3
4	67	14	25	24	57	34	34	44	0	54	5	64	2
5	59	15	26	25	93	35	42	45	3	55	6	65	6
6	32	16	39	26	57	36	44	46	8	56	2	66	16
7	44	17	70	27	44	37	58	47	13	57	3	67	7
8	34	18	59	28	49	38	304	48	2	58	11	68	14
9	67	19	33	29	44	39	100	49	2	59	14	その他	0
10	37	20	59	30	96	40	14	50	3	60	6	合計	2369

### ◆納入方法

「ながれ」に同封する郵便局の振込用紙にて納入して下さい。

### ●金額

千円以上(二口千円を一口以上)でお願いします。

### ●趣旨

この「ながれ」は長良高校同窓生二万八千六百余名(住所不明者除く)に送付されています。その費用として毎年送料を含め三百万円程必要になります。現在の納入状況では全員への送付が不可能になります。どうか、お一人千円以上の会費を納入してください。

会費納入のご協力を  
お願いします